

平成 29 年度 第 2 回長野市立図書館協議会開催概要

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 9 日(金)午後 2 時～ 4 時
- 2 場 所 長野図書館 2 階会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 10 名 浅川佐代子委員、安藤裕子委員、清水サチ子委員、中澤惇夫委員、西一夫委員、二本松泰子委員、星野東洋紀委員、森山環委員(欠) 森山奈々委員、横倉隆夫委員(欠)
 - (2) 事務局 9 名 教育次長 松本孝生
家庭・地域学びの課 広田貴代美課長、中村友香主事
長野図書館 宮寄利昭館長、稲葉聡子館長補佐、原山良二専門員
西山麻美子係長
南部図書館 和田益雄館長、宮沢和雄館長補佐

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 教育次長あいさつ
- (3) 委員長あいさつ
- (4) 報告事項 指標と数値目標について
- (5) 協議事項
 - ア 平成 29 年度主な事業実績について
 - イ 平成 30 年度主要事業計画(案)について
 - ウ その他
- (6) その他

{あいさつ}

教育次長：本日は、お忙しい中、平成 29 年度第 2 回目の図書館協議会にご出席をいただきありがとうございます。

長野市立図書館は、教育・文化の発展のため重要な施設であり、市民の生涯学習の場として、また、情報提供の場として皆様のご要望に応えるべく、ご利用しやすい図書館を目指して、努力しているところでございます。

今年度は、長野地域連携中枢都市圏連携事業としまして、長野市に隣接する須坂市・千曲市・高山村・信濃町・小川村・飯綱町の図書館、図書室の図書資料を、長野市に居住する方が利用し、また、相手方の市町村に居住する方が、長野市立図書館の図書資料を利用できる、「図書館資料の貸出しの広域化」、いわゆる「広域貸出」が、この 1 月からスタートしました。

また、現在、家庭・地域学びの課で、「第三次長野市子ども読書活動推進計画」

を策定中ではありますが、市立図書館の取組として、(1)子ども対象の読書推進事業の充実、(2)児童・青少年向けサービスの充実、(3)特別な支援を必要とする子どもの読書環境の充実、(4)図書館司書の充実、(5)資料整備と情報化の推進、(6)図書館サービス網の充実、(7)読書を通じた国際感覚等の形成を掲げ、子どもが本に親しみ、自主的に読書を行う習慣を身に付けることができるよう、読書活動に関する普及・啓発活動の促進に取り組んでまいりますので、委員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

本日は、平成29年度の主要事業実施概要、平成30年度主要事業計画を説明させていただき、ご審議をお願いします。委員の皆様方には、長野市立図書館を、より市民の皆様が親しみやすく、ご利用しやすい図書館とするために、忌憚のないご意見をいただきたいと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。

委員長：皆様こんにちは、信州大学の西でございます。今、松本教育次長さんからお話がありましたように、今年度の図書館運営に係る業績の報告、次年度の計画ということで、広域の貸出が始まったということとともに、市自体が非常に広域化している中で、どんなふうに図書館の運営をより良くしていけるのかというようなところに関して、限られた時間ではありますがけれども忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

<図書館計画 指標と数値目標について 説明>

<平成29年度主な事業実績 説明>

<平成30年度主要事業計画(案) 説明>

委員長：29年度の長野図書館・南部図書館の主な事業実績・30年度の主な事業計画ということで、図書館から説明をいただきました。委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。

委員：南部さんかと思いますが、先ほどの読み聞かせ講座で、読み聞かせの入門コースとボランティア入門コースに分けてやられたこと、その結果、ボランティア発表の申し出があり、実際にボランティアを受けた方が、活かされているということを知って、とっても良かったなと思っています。私いままでこの会議に出て思っていますが、一生懸命ボランティアを養成しますが、その方々が、本当に活かされているのかなというのが疑問で、質問した記憶があるのですが、今回このように前向きにされたことで、とても嬉しく思いますし、自分も関わりの中で、お願いできることがあったらしていきたいなと思いました。今後ともよろしくお

願います。

委員長：ご意見というより、励ましのご意見でした。

委員：南部図書館の移動図書館でありますけれども、たいへんご苦労いただいでいて、巡回箇所も多いし、たいへんよくやっていることを感謝したいと思いますけれども、前年度比、巡回回数が11回減ということで、ちょっと多いかなと、なにか理由がありましたら、こういう理由で減らしたか、ご説明願います。

事務局：移動図書館は、日曜、祝日は運行していません。主な理由は祝日が月曜とか水曜日になったため減ったものであります。あくまでカレンダー的理由です。

委員：長野図書館において4ページに出ています、広域貸出の実施ということで、資料とか本とかの相互貸借をされていると思いますが、例えば長野図書館に来て、この本を探して、これが無かった場合、須坂市とか千曲市とか他の図書館で、無かった本があるのかどうかという内容の相互の検索というのはできるようになっているのか、もう一点は5ページに図書館の職員による、おすすめの本の紹介ということで、児童向けとか、南部図書館においても児童向けとか成人向けとかになっています。実績と同時に30年度の主要事業計画の所でも同じように、子ども向けのおすすめの紹介本は、子ども向けとか、南部図書館においても、子ども向けとかありますが、児童向けとか、成人向けとかは、ある程度分野というかジャンルは決められているのですか。例えば一般の小説とか、あるいは建築の本で、こういう物がいいとか、芸術でも一緒ですけれども、広範囲に本の紹介というのはできるのかということと、本の紹介をする、この本がいいですよという選択する基準はどういう所から選んでいるのかなということ。例えばマスコミで、いろいろ情報がでてくるから、そういうのも参考にしつつされているのか、お聞かせ願えればと思います。

事務局：まず最初のご質問の広域貸出の関係で、各図書館の蔵書の検索ができるかということによろしいですか。こちらにつきましては、図書館のホームページがございまして、そちらの方でリンクを組んでいるところもありますが、そうでなくても県立図書館のホームページから、長野県内の公共図書館のリンクといいますか、相互の検索ができるような仕組み、横断検索というシステムがありますので、県内の図書館の蔵書を見ることが出来ます。図書館同士でも、リンクを組むということは、可能は可能ですが、県立図書館でそういったシステムがございまして、そちらの方をご利用いただくということで、当面对応できるのかなと思います。

すし、必要であれば考えていけばよろしいのかなと思っているところでございます。それからおすすめ本のことにつきまして、職員のおすすめ本ということにつきまして、今まで子ども向けという形でやってきております。資料を収集いたしまして、年間おすすめ本は100冊程度選んでリストを作って、提供しているというところでございます。その中にはベストセラー的な物とか新刊本的な物も入ってきますが、本当に図書館職員のおすすめ本ということで自分のこれだと思う本を、その都度一点あげていくということございまして、季刊冊子は、新刊本というよりは、自分が気に入った本といいますか、職員一人一人の主観によって選んでいるという所です。いろいろなジャンルというお話もございましたけれども、これまでは子ども向けということで選んできましたので絵本とか児童書のジャンルから選んでいましたけれども、これをさらに広めて、たとえば一般向けということも考えていこうかということで、そうした場合に悩むところもあります。小説をおすすめするのか、それとも芸術だとか、いろいろな分野がありますので、そちらをおすすめしていくのかということもできますので、今回は例えば小説関係だとか、今回は芸術だとか、そのような考え方もあるのかなとは思っています。

委員：児童向けが、大筋そのようになっていますけれども、出来るなら将来において、あらゆる分野を紹介いただければありがたいと思います。例えば児童向けなりなんなり、この本がいいですよと紹介したら、紹介の題名ではなくて、その内容について一行でも二行でもいいのですから、簡単にこのような内容なんですよとか、記載されているのですか。

事務局：長野図書館の職員のおすすめ本ですけども、1人1人の職員でやり方が違っていきまして、例えば私が出したものにつきましては、絵本の中に絵がありますので、印象に残った絵を、ポップみたいな形で書き込んだり、その中に大雑把な一行二行で済むような、こんなお話だよということを添えるというようなことをやっています。割とそのようなやり方をしている職員が多いです。

委員長：長野図書館で来年の特定天井等の改修工事ですけども9月から12月までの4箇月ですが、閉館はしないという形での工事という理解になりますか。

事務局：天井の工事につきましては、閉館をせずにすめばいいのですが、どうしても1階の天井、吹き抜けの天井ということでございまして、図書館のメインとなっている書架のコーナーでございまして、その天井の工事をするとなると開館したままではできないということで、休館という形になります。

委員長：しばらく前からフェイスブックをやるようになったのですが、ホームページを長野市の図書館お持ちですけれども、情報をどうやって発信するのかなといつも思って、よく見ているのが宮崎の県立図書館ですが、結構投稿数が多い図書館でして、新刊が間もなく配架されますという写真、本の背表紙だけ書棚に並んでいるのが、時々アップされます。間もなく今月の新刊が配架になりますというような出し方をしていく、どうしても本の表紙を見せたくになりますが、そうはいかない場合には、これくらいの本が今月貸出に可能になります。特にフェイスブックは、やっていないのですよね。ホームページだけの運用なので、ちょっとひと工夫していくと若い人たちにとってもフォロワーが増えれば、少し図書館にも近くなるのかなーと、こんな本が入るんだというところも一つアイディアなのかなと思って、先ほど伺いました。もし補足の情報があればお知らせいただきたい。

事務局：ホームページで新刊の本が入りましたというのは、新刊のコーナーでアップしているのですが、SNSなど「今からでますよ」とかお知らせはしていませんので、また研究していきたいと思います。

委員：(広域貸出について)信濃毎日で結構大きく取り上げられたのを覚えていて、いままでも結構どこかの図書館でいいなと思って、図書館を通じて借りることもできたのじゃないかなと思ったんですけれども、そういうサービスありましたよね。一般の方に周知できるということだと思いますけれども、なんで今更という感じがしますけれども

事務局：図書館同士で、本の貸し借りというのはできます。相互貸借というものです。相互貸借は、それこそ全国の図書館とやりとりができます。ただ相互貸借になりますと、費用もかかってくるというのがあります。時間もかかる、費用もかかるという所で、そういった支障もあるという中で、この広域貸出につきましては、近隣の市町村の方々につきましては、もっと自由に借りていただければいいなというところの取り組みでもあります。今まで通勤通学の方だけが対象でしたが、これから6市町村にお住まいの方であれば、長野市民と同じように図書館の資料を借りてもらえると、一部制約等ございますけれども、より気軽に借りていただける、それこそ通勤通学でない方たちも、たとえば、買い物のついでとか、なにか長野に遊びに来たついでとか、そういったことで本を借りていただける。逆に長野市民の方であれば、6市町村の範囲ではありますけれども、須坂と千曲市では図書館の本が借りれる。また、他の町村は公民館の図書室なので、もともと本は借りれましたが、そういった事が知られていないということがありました。須坂

市にしても千曲市にしても、基本的には通勤通学者については市民と同じように、その在住の方々と同じような取扱いをしていたのですが、通勤通学でない方については、制約がかかっていたという部分があります。そういったところ全部ではありませんが、少しずつ支障を取り払っていくという形で、始めたものでございます。相互貸借と今回の広域貸出とは自由度がだいぶ違うし経費的な面も違うというところはございます。

委員：相互貸借というのは、前からありますよね。私、昔学校にいたときに生徒から頼まれて、南部図書館を通じて国会図書館から取り寄せていただいたけれども、そうなるとお金がかかるじゃないですか、それは送られてきたのと送り返すのは南部図書館の負担となるのですよね、たぶん。それと最近になって松本の図書館の本をお願いしたら断られたので、相互貸借というのは結構、便利というか、ないけどいいというか、サービスなので、どの程度、さじ加減じゃないけど、これはいいけど、これはちょっとというのがあるのかと思って、相互貸借は全部応じてないということですか。

事務局：相互貸借の経費のことについては、借りた図書館が、経費を負担するということになっています。借りられない本ということですが、例えば禁帯出、図書館内だけの専用の本というのがありますので、そういった本でありますと、相互貸借であっても貸出ができないということもあります。それから当館の基準では、受入登録日から3箇月以内の新着本についても相互貸借はできないという方針をとっています。そのようなことから経過がわかりませんが、借りられない本もあります。

委員：5ページのところで第67回図書館大会がありますが、私もボランティアだったので、参加させていただきました。そこに学校図書館の方も参加して、とても勉強になったという話を聞きました。ボランティアの分科会もあったりして、私もこれいいので、週刊長野にたまたま知り合いの人がいるので、講演会とか聞いてほしいので、そのコラムを出してもらえないのかしら、それは図書館大会だから、大きいところがやるから、うちではちょっとと断られたのですが、せっかく金沢とか石川県とかいろいろ集まって、いろいろなことを聞ける、長野市にいと他県のことは、なかなか聞けないので、勉強になった、学校図書館の人がいたので、もうちょっと、広報というか、参加してはいけないということないですよ、ボランティアの方は、参加費を取らないということまでしていたので、もうちょっと呼びかけていただいたら、いかがでしょうかと思いました。主催者があまり多くなると收拾がつかないということもあるのかなとその辺いかがでしょ

うか

事務局：今回、長野県図書館大会と北信越地区学校図書館研究大会の同時開催という形をとった訳ですけれども、主催者が県の図書館協会と長野県の教育委員会になります。県内での開催地については、それぞれ各地区ブロックに分けて、まわしているという状況で、今年度は長野市が事務局をやらせていただきました。PRについて基本的には、県図書館協会となりますので、両方でここはどうするのだというようなやりとりもありました。地元の方では、実行委員会という組織を組みます。県レベルの方では企画運営委員会という、もう一つの組織がありまして、基本的には、そこが決定機関という形になります。広報等につきましても、県と県図書館協会の方で実施してゆくというスタンスをとっていたものであります。長野市が独自で広報等をなかなかできなかった部分があります。

委員：先ほど図書館同士の情報というのはできていると。であるなら地域の大学の図書館とのリンクはどうなっているか。それについても図書館に来て、本当の専門書を見たいと思った場合、図書館にはない。大学の方にこういうのがあると、では大学の方に行って調べてみたらとか、そういう場合に大学の図書館と連携がとれていれば専門書もみれる。だけど大学の図書館では学生が主体であり、ひとつの垣根があると思います。いずれにしても、条件さえあれば、こういうような人で、ここで図書館に行って調べるのだったら、大学にそういうようなものがあるから、大学の図書館に行って、調べてもいいよという条件をクリアできれば、普通の図書館と専門書を持っている大学との図書館の連携によってすればいいのかなと、そういうようなネットワークすることによって地域の開かれた大学なり、図書館なり、地域にとっては、プラスになるのではないかと思うので、大学との連携については、図書館ではどのように考えているのかお聞きしたいと思います。

事務局：今の話につきましては、実際にリンクという形、ホームページ等のリンクを貼りまして、それぞれの蔵書の検索を行えるようになってはいますが、例えば長野市立図書館のホームページとリンクを組んでいる所を申し上げますと、信州大学教育学部の図書館、工学部の図書館、清泉女学院大学の図書館、長野高専の図書館とはリンクを組んでおりまして、それぞれ一般の方もご利用できます。こちらの図書館に無くても、検索をしていただいて、それぞれの大学の図書館にあるということであれば、そちらの図書館に借りに行くことは可能です。県立大学との連携という形を考えていく中で、まずこういったところでリンクを貼っていただいて、蔵書の検索をお互いにできるという形をとっていくのも、第一歩になるのかなと考えています。

委員：その場合に、自分でこういう本があつて、なんとかならないかということで、長野図書館に相談すれば、調べられるとフォローなり、アドバイスをしてくれるということですか。

事務局：この本が借りたいということであれば、こちらの図書館にありますということで、お調べいたします。大学の図書館の本を一般の方が借りられるということを知らない方が多いかと思しますので、長野図書館でも「借りれますよ」という紹介のようなこともしていきたいと考えています。

委員長：29年度の事業実績、次年度の事業計画案、それぞれについて、特にご異議がなければ、ご了承いただいたということでしょうか。協議事項(3)その他について事務局からなにか、ございますでしょうか。

<南部図書館アンケート説明>

委員長：なにかご質問があれば承りますが。

委員：長野図書館の方の開館時間は、何時から何時までですか。

事務局：長野図書館の開館時間につきましては、平日は、9時45分から、19時までということになっています。土日祝日につきましては、9時45分から18時までということになっています。

委員：市街地と篠ノ井の南部図書館、住宅地にありますので、条件的違いはあろうかと思えますけれども、長野が9時45分、開館時間は、15分の違いだけですけれども、終了が19時までという1時間長い訳で、篠ノ井もできたら、そんな具合にさせていただくと利用者にとっては、非常にありがたいと思います。先ほどのアンケートを基に熟慮してというようなことですので、そこらへん期待しております。

教育次長：今日はありがとうございました。長時間にわたり、さまざまなご意見を頂戴しました。参考にして図書館サービスの充実に努めてまいりたいと思います。それから公共施設の観点のお話をさせていただきました。これからの時代ということで、教育委員会が所管している施設は、市有施設のうち全体の35%、小中学校ありますので、非常に大きいです。図書館について言えば、ワークショップを参考にしながら、篠ノ井地区、長野市の南部地域、市全体のご意見をいただきながら、教育委員

会で議論を進めながら、考えていきたいと思ひます。今日いろいろなご意見をいただきましたけれども、図書館のサービスを具体的に改善したり、新規にどんなことができるか、そういった積み重ねが大事だと思ひていますので、今後とも、この機会、いろいろな機会がありますので、ご意見を頂戴できればと思ひます。本日は誠にありがとうございました。